

「琉球美、造形研究会」

第2回定例研究会 2022年2月27日(日) 14:00-16:00

これから、「琉球美、造形研究会」の第2回定例研究会を開催します。

会長の永津禎三です。第2回の定例研究会開催にあたり、一言述べさせていただきます。

前回、第1回目の定例研究会を12月19日に開催いたしました。

当日は14名の会員に参加していただき、この研究会の様子を録画し、ホームページに載せることも何とかできましたので、当日参加を見送られた方にも、後日、試聴していただく態勢も一応整いました。この録画記録は、現在はYouTubeの限定公開ですが、いずれは一般公開にしていきたいと思っています。

今回の田中睦治先生のご発表については、私の方からリクエストさせていただきました。

それは、前回も少しお話しさせていただきましたが、この研究会発足時の記者会見での出来事がきっかけです。

昨年、9月27日に、県庁記者クラブで「琉球美、造形研究会」発足と発足準備会からの県知事宛「緊急提言」を発表しました。その席にはOTV、QABのテレビ局2局、沖縄タイムス、琉球新報の新聞社2社が来てくれ、こちらの発表を、1時間余りでしたが、とても熱心に聞いてくれました。

この記者会見の席上、田中先生は「文化財の復元とは何なのだろう」かを、立法院の解体撤去、及び、首里城城壁工事でのご自身の体験をもとに語られました。

このお話に、同席した私たち会員は大変に感銘を受け、同時に、取材陣にもその思いはしっかりと伝わっているように思えました。

しかし、翌日の新聞二紙の報道は最小限のもので、全く田中先生のお話が反映されたものではありませんでした。QABは独自の姿勢で継続的に首里城復元問題を取材していて、私たちも取材への協力を行ってきましたが、10月29日のニュースヘッドラインでの特番の内容は、国の技術検討委員会委員の安里進氏が根拠もない話を自信満々に語る映像ばかりが印象付けられる、全く期待を裏切られる番組でした。

あの、9月27日の記者会見での田中先生のお話を記録しておかなかったことを本当に悔やみました。同時に、自分たちが発信できるメディアを持たない限り何ともならない、この国のマスメディアの凋落(ちょうらく)を強く感じました。

「琉球美、造形研究会」ホームページを立ち上げたのは、そんな思いもあつてのことです。

不慣れなZoom会議を余儀なくされる、この新型コロナ禍ですが、逆に考えれば、定例研究会の内容は録画可能で、大きな編集もなく発信可能です。

今日は、田中先生に存分に語っていただき、そのお話を、webを通じて多くの方に聞いていただくことができる素晴らしい機会であると思っています。

それでは、田中先生、よろしく願いいたします。